

# 道徳のかけ橋

平成29年11月20日発行  
第 1 5 号  
福 島 県 教 育 庁 課  
義 務 教 育 課

## 「特別の教科 道徳」の実施に係る校内研修を行っていますか。

研修の時間がなかなかとれない…

授業や子どもの姿を基にした研修を行いたいけれど…

このような先生方の声を、「特別の教科 道徳」の実施に向けた地区別研修会で耳にしました。現在、文部科学省では、道徳の教科化に向けた教員の研修の充実のために、「道徳教育アーカイブ」を設置し、動画等で配信しています。



道徳教育アーカイブ <https://doutoku.mext.go.jp/>

授業映像+授業者インタビューを合わせて、一本20～30分程度で見ることができ、動画に合わせて職員で話し合ったり、道徳科の今後の動向等を確認したりすれば、研修をより効果に実施することができます。

また、独立行政法人教職員支援機構のホームページにも、校内研修シリーズとして「道徳教育」の動画があり、今回の教科化の要点等についての解説を視聴することができます。このような動画等も積極的に活用しながら、効果的に研修を深めていただきたいと思います。

県教育委員会でも、保護者等を対象に発行を予定している「道徳のとびら」に加え、この「道徳のかけ橋」を適宜発行したり、道徳教育推進校報告書をお届けしたりするなどして、積極的に情報を発信していきます。

13～15号に引き続き、「特別の教科 道徳」の実施に向けた地区別研修会の説明と質問いただいた内容について、とりまとめたものを掲載します。今回は4回目です。

## 「特別の教科 道徳」の評価は？

評価の「基本的な考え」と「方向性」については以下ようになります。まず、評価者としての教師が継続的に把握するのは「学習状況」と「道徳性に係る成長の様子」であり、「数値による評価は行わない」ことを押さえる必要があります。また、把握した学習状況と道徳性に係る成長の様子は、指導に生かすことが明記され、他教科同様、道徳科においても「指導と評価の一体化」を強く意識しています。

### 道徳教育に係る評価等の在り方について

#### ○改訂後の学習指導要領(特別の教科 道徳)

児童(生徒)の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。

ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

具体的な方法を、道徳科の評価の在り方に関する専門家会議で検討

【基本的な方向性】

(H27.6～H28.7)

- 数値による評価ではなく、記述式とすること、
- 個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価とすること、
- 他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価(※)として行うこと、
- 学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視すること
- 調査書に記載せず、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにする必要



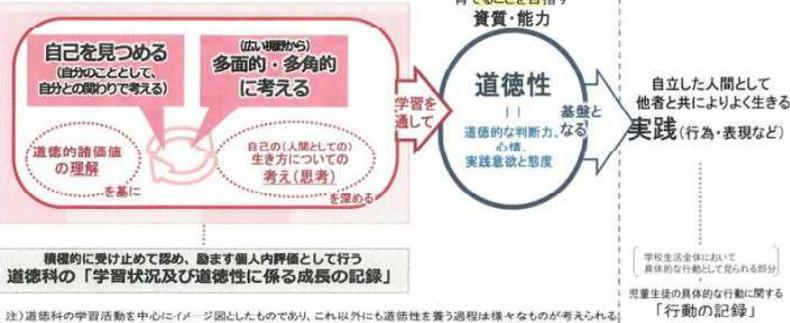
※専門家会議報告に基づき、道徳科の学習評価の在り方、指導要録の参考様式について、平成28年7月29日付で都道府県教育委員会等に通知

# 道徳科の評価はどのように進めたらよいのでしょうか？

## 道徳科の学習活動と評価のイメージ

- 道徳性が養われたか否かは容易に判断することができるものではなく、観点別に分析的に評価(ABCの段階をつける)ことは妥当ではない。
- 道徳科の授業では、特定の価値観を児童生徒に押しつけたり、指示通りに主体性を持たずに言われるままに行動するよう指導したりするものであってはならない。内容項目を手掛かりに「考え、議論する」ことを通じて、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学習を行うことにより、道徳性を養うことを目指すもの。
- このため、道徳科の学習の中で、特に「自己を見つめ、自分のこととして考えているか」「物事を多面的・多角的に考えようとしているか」といったことに着目することで、道徳科の学習状況を把握することが必要である。

### 道徳性を養うために行う道徳科における学習



- 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行います。
- 観点別で分析的に評価したり、数値化したりする評価は、道徳科では妥当ではありません。
- 道徳科の特質である「自己を見つめる姿」「多面的・多角的に考える姿」を見取って評価していきます。
- 学校生活で見られる姿は、これまで通り「行動の記録」に記述します。道徳科の評価は、あくまで授業を行った結果としての「学習状況」「道徳性の成長に係る成長の様子」を見るものです。



- 指導要録において、記述式の評価の記載が必要となります。
- 道徳科の評価の実施に伴う指導要録の形式等については、28教義第846号(平成28年8月10日付)で発出しています。
- 指導要録の様式については、各学校の設置者が決定することとなっています。また、記入例や記入の手引き等については、今後、県教育委員会から情報発信していきます。

小学校児童指導要録(参考様式)(イメージ) 別紙3

氏名		学年		学期		月		日		時		分		秒	
各教科の学習の記録															
I 観点別学習状況															
科目	単元	内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
道徳	道徳1	道徳1-1													
道徳	道徳2	道徳2-1													
道徳	道徳3	道徳3-1													
道徳	道徳4	道徳4-1													
道徳	道徳5	道徳5-1													
道徳	道徳6	道徳6-1													
道徳	道徳7	道徳7-1													
道徳	道徳8	道徳8-1													
道徳	道徳9	道徳9-1													
道徳	道徳10	道徳10-1													
道徳	道徳11	道徳11-1													
道徳	道徳12	道徳12-1													
道徳	道徳13	道徳13-1													
道徳	道徳14	道徳14-1													
道徳	道徳15	道徳15-1													
道徳	道徳16	道徳16-1													
道徳	道徳17	道徳17-1													
道徳	道徳18	道徳18-1													
道徳	道徳19	道徳19-1													
道徳	道徳20	道徳20-1													
道徳	道徳21	道徳21-1													
道徳	道徳22	道徳22-1													
道徳	道徳23	道徳23-1													
道徳	道徳24	道徳24-1													
道徳	道徳25	道徳25-1													
道徳	道徳26	道徳26-1													
道徳	道徳27	道徳27-1													
道徳	道徳28	道徳28-1													
道徳	道徳29	道徳29-1													
道徳	道徳30	道徳30-1													
道徳	道徳31	道徳31-1													
道徳	道徳32	道徳32-1													
道徳	道徳33	道徳33-1													
道徳	道徳34	道徳34-1													
道徳	道徳35	道徳35-1													
道徳	道徳36	道徳36-1													
道徳	道徳37	道徳37-1													
道徳	道徳38	道徳38-1													
道徳	道徳39	道徳39-1													
道徳	道徳40	道徳40-1													
道徳	道徳41	道徳41-1													
道徳	道徳42	道徳42-1													
道徳	道徳43	道徳43-1													
道徳	道徳44	道徳44-1													
道徳	道徳45	道徳45-1													
道徳	道徳46	道徳46-1													
道徳	道徳47	道徳47-1													
道徳	道徳48	道徳48-1													
道徳	道徳49	道徳49-1													
道徳	道徳50	道徳50-1													
道徳	道徳51	道徳51-1													
道徳	道徳52	道徳52-1													
道徳	道徳53	道徳53-1													
道徳	道徳54	道徳54-1													
道徳	道徳55	道徳55-1													
道徳	道徳56	道徳56-1													
道徳	道徳57	道徳57-1													
道徳	道徳58	道徳58-1													
道徳	道徳59	道徳59-1													
道徳	道徳60	道徳60-1													
道徳	道徳61	道徳61-1													
道徳	道徳62	道徳62-1													
道徳	道徳63	道徳63-1													
道徳	道徳64	道徳64-1													
道徳	道徳65	道徳65-1													
道徳	道徳66	道徳66-1													
道徳	道徳67	道徳67-1													
道徳	道徳68	道徳68-1													
道徳	道徳69	道徳69-1													
道徳	道徳70	道徳70-1													
道徳	道徳71	道徳71-1													
道徳	道徳72	道徳72-1													
道徳	道徳73	道徳73-1													
道徳	道徳74	道徳74-1													
道徳	道徳75	道徳75-1													
道徳	道徳76	道徳76-1													
道徳	道徳77	道徳77-1													
道徳	道徳78	道徳78-1													
道徳	道徳79	道徳79-1													
道徳	道徳80	道徳80-1													
道徳	道徳81	道徳81-1													
道徳	道徳82	道徳82-1													
道徳	道徳83	道徳83-1													
道徳	道徳84	道徳84-1													
道徳	道徳85	道徳85-1													
道徳	道徳86	道徳86-1													
道徳	道徳87	道徳87-1													
道徳	道徳88	道徳88-1													
道徳	道徳89	道徳89-1													
道徳	道徳90	道徳90-1													
道徳	道徳91	道徳91-1													
道徳	道徳92	道徳92-1													
道徳	道徳93	道徳93-1													
道徳	道徳94	道徳94-1													
道徳	道徳95	道徳95-1													
道徳	道徳96	道徳96-1													
道徳	道徳97	道徳97-1													
道徳	道徳98	道徳98-1													
道徳	道徳99	道徳99-1													
道徳	道徳100	道徳100-1													

**Q 「大きくりなまとまりを踏まえた評価とすること」とありますが、具体的に教えてください。**

**A** 小(中)学校学習指導要領解説「第5章 第2節 道徳科における児童(生徒)の学習状況及び成長の様子について」の「道徳科に関する評価の基本的な考え方」には、「道徳科の学習状況の評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、児童(生徒)の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する必要がある。」とされています。指導要録の記入上の大きくりなまとまりは、一年間を指しますが、児童生徒を受け止めて認め、励ます評価を、どの時期にどう実施し、児童生徒や保護者に還元していくか、各学校で設定する必要があります。当然のことですが、保護者に還元していく方法が、通知表へ記述する、面談でお知らせするなど、どのように実施するかについては、各学校の判断に委ねられます。いずれの場合も、市町村教育委員会の指導助言の基、進めていくことが大切です。

**Q 「個々の内容項目ごとではなく」とは、どうとらえればよいのですか、教えてください。**

**A** 一つ一つの内容項目ごと(授業ごと)に、「ABC」や「数値」等による評価をしないことを意味します。「内容項目について記述してはいけない」ということではなく、各学校が設定した大きくりなまとまりの期間で、児童生徒がいかに成長したかという点からの個人内評価として実施し、把握した学習状況や道徳性の成長に係る様子の中で特に顕著なものを評価するのですから、児童生徒の成長を特に表す内容項目にふれることは何ら問題ありません。当然ながら、児童生徒や保護者に評価を還元することにより、児童生徒を積極的に認め励ましたり、その後の指導に生かしたりする役割があることも言うまでもありません。

※次号でも続けて、道徳科の評価について特集していきます。